

プログラミング指導教員養成塾 成果報告会		所属名	笠沙小学校	氏名	田頭 美保
教科・領域	音楽	単元・題材名	ほしのおんがくをつくろう		
プログラミングの形態	アンプラグド	教材・言語			

できることから始めよう！

～1年生から始めるプログラミング的思考を意識した音楽づくり～

1 音楽科でプログラミング教育？

小学校におけるプログラミング教育では、「プログラミング的思考」つまり「自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づいていくか、といったことを論理的に考えていく力」を育むことを求められている。これは、音楽づくりの音の組み合わせ方などを論理的に考え、改善しながら行っていく活動でも育むことができると考えられる。

2 1年生でもできる

① 目標

- ・ 短い旋律をつくったり、仕組みを生かしたりして、音を音楽にしていくことを楽しみながら、思いをもって簡単な音楽をつくる。

② 本時の流れ

★をつないで、せいざをつくろう。

- ・ ドレミの星の図譜から音を結んで、自分の旋律をつくる。
- ・ 「ドドソソラソ・」の問いに対しての答えの部分を作ることを確認する。
- ・ どんな星座にするか思いをもつ。(はずむ感じ・元気な感じ・静かな感じなど)
- ・ 音を確かめながら好きな旋律を作っていく。終わる感じの旋律をつくる。
- ・ 自分の思いにあった演奏の仕方を工夫する。(弾む感じに強く・楽器を選ぶなど)
- ・ 作った旋律と友達の旋律をつないで、よびかけたり答えたりするように演奏をする。



「音を変えてみよう。」



「こっちの音の方がいいな。」

3 成果と課題

- 4人という少人数なのでこれまでの旋律づくりやリズムづくりでも強弱や感じなどを意識して指導していたので、自分なりの思いをもって音楽づくりをすることができた。
- 音楽づくりする場面でビジュアルプログラムを活用するとさらに活動が広がると考えられる。